

数学

【数学Ⅰ・A】大問数は必答と選択からの計4問で、例年通り。難易度はやや難化。第1問は全体的に解きやすい。

第2問のデータの分析は問題文が非常に長く、複数の資料を短時間で眺みとる必要がある。第3問では確率が正誤判定の形式で出題され、第4問の整数では循環小数と n 進法の融合問題が出題され、難しい。単純な計算だけでなく、思考力を問う新テストを意識した問題が見受けられた。

【数学Ⅱ・B】出題形式は必答2題と選択2題の計4題。分量、難易度ともに標準的。第1問の三角関数・指数対数関数は誘導が丁寧な計算問題。確実に得点したい。第2問の微積分は接線や面積を考える典型的な問題。第3問の数列は、誘導に従って複雑な漸化式を解く問題。計算力の差がつきやすい。第4問

は空間ベクトルが2年連続の出題。基本的な計算が中心である。
(京進)